コンセプトの中間報告

【和光市の街の成り立ち】

かつて
- 川越街道の宿場町「白子宿」が、日本橋と川越城を結ぶ街道の中間的な要衝
- 人や物資が徒歩・馬車で行き交い、「街道の真ん中」「宿場のにぎわい」としての役割
- 周辺は田畑と川、寺社・町家が並ぶ、街道沿いの典型的な宿場風景

今（現　在）
- 東武東上線・東京メトロの終着・乗換駅として、都心と郊外を結ぶ鉄道結節点
- 南口側に商業・業務・公共施設が集積し、北口側は住宅地が広がる構成
- 国道254号（川越街道）と外環道が交差し、車交通の要衝

未来
- 国道254号バイパス等により、川越方面と都心方面を結ぶ広域動脈が再構成
- 和光市駅北口の再開発や北口土地区画整理事業により、鉄道＋道路＋次世代モビリティが重なる新たな結節拠点が形成
- 駅北口駅前広場が、市内の生活拠点・産業拠点とBP・外環を結び、「都心と街道の双方に開いた玄関口」として機能する姿

【和光市の将来像】

交通の将来像

広域とつながる「新たな交通玄関口」
既存の交通機関と次世代モビリティがつむぐ新たな交通拠点

土地利用の将来像

インフラ整備・土地区画整理事業・再開発事業で創出される
新たな生活拠点・新たな産業拠点を結ぶ都市インフラの再構成

【これからの和光市駅の位置付け】

既存の拠点と新たな拠点とそれらをつなぐ新たな公共交通網の起点であり、市民の居場所となる新たな街の顔の創出

【和光市駅のビジョン】

和光が誇る多彩な魅力を紡ぐ『まちの結び目ステーション』

【和光市駅北口広場のコンセプト】

和光TSUMUGIテラス

和光市駅
北口広場
整備方針

❶多様な人々の活動を支え、新たな交流やにぎわいを育む駅前空間を紡ぎます

❷和光市の豊かな自然を感じられる、日常に潤いと安らぎをもたらすみどり豊かな駅前空間を紡ぎます

❸周辺開発と一体となり、新たな産業・生活拠点の玄関口となる駅前空間を紡ぎます

❹未来の多様な交通に対応し、誰もが円滑に利用できる交通結節空間を紡ぎます

和光TSUMUGIテラスを実現するための要素

和光らしさ

- 要素❶ かつて交流拠点としても栄えた川越街道・白子宿の歴史を紡いだ、多世代・多様な市民の文化活動と交流の場の拠点化
- 要素❷ 荒川や武蔵野の雑木林の四季や水辺の豊かさを継承し、和光市に点在する緑地をつなぐみどりの空間
- 要素❸ 企業、研究施設、学校などが多く立地する学術研究都市

めざす未来像

- 要素❹ 和光市の顔となる新たな駅前広場の整備 シビックプライドの醸成
- 要素❺ 和光らしい「ふるさと感」を創出 ヒューマンスケールの景観形成と温かみのある照明計画
- 要素❻ 和光市の新しい玄関口として 駅北側の新たな拠点をつなぐ
- 要素❼ 「いつも」の広場が「もしも」の拠り所に 和光市全体の防災計画を補完
- 要素❽ 市民生活を支える小さな交通 次世代モビリティや新たな移動手段の導入
- 要素❾ 公益性と居場所を備えた市民のサードプレイス 再開発と連動し、市民生活の利便性向上